

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態	
エンドオブライフケア学特論V(高齢者の看護)	1	前期	2	講義 30時間	
担当教員	長江弘子、青山美紀子、山田案美加、吉田明人、原沢のぞみ				
授業概要	高齢者とその家族の特徴を発達学的視点でとらえ老年期における健康問題、加齢による影響や変化を踏まえた疾病の予防と治療、そして人生の最終段階の治療やケアにおける課題を解決するための高度な看護実践の方略について学修する。さらに高齢者の健康と生活ニーズに関するアセスメントと看護実践により生活機能維持と生活の質向上に向けた支援(自立支援・リハビリテーション等)により持っている力を引き出し生きる力を維持する方略とその評価方法を学修する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者とその家族の特徴と健康課題について説明できる。 2. 高齢者のコモンディジーズの症状アセスメントと看護援助について説明できる。 3. 高齢者の健康課題と重症化予防について説明できる。 4. 高齢者のケアマネジメント及び継続看護マネジメントの理論と方法を理解し、高齢者の生活ニーズに沿ったアセスメントとその高度な看護実践について説明できる。 5. 高齢者とその家族を支えるサポートシステムについて説明できる。 6. 高齢者とその家族の健康課題を解決し、その人の望む生き方を支えるエンドオブライフケアの実践について説明できる。 				
履修条件	特になし				
授業計画	回	内容	担当教員		
	1	我が国における高齢者の特徴と健康課題、高齢者政策ならびに保健医療福祉政策についてプライマリケアの観点から整理する。	長江		
	2-3	高齢者のエンドオブライフケアに必要な理論や支援概念、看護実践モデルを学び、実践に適用し理解を深める。	長江		
	4	高齢者のフィジカルアセスメント	吉田		
	5-6	高齢者のコモンディジーズの症状アセスメントと看護援助 ：老化と老年症候群、認知症	原沢		
	7-8	高齢者のコモンディジーズの症状アセスメントと看護援助 ：骨・関節系、皮膚・感覚器系、創傷管理	原沢		
	9-10	高齢者のコモンディジーズの症状アセスメントと看護援助 ：高齢者の内服管理、呼吸器、消化器系、循環器系など	原沢		
	11	高齢者の健康増進と重症化予防、地域における高齢者保健福祉政策と予防に関する支援：生活習慣病を例に	山田		
	12	高齢者の生活ニーズ把握の方法とアセスメント：臨床推論、ICF、健康の連続性、に基づきケアの継続性と時間軸で見据えるケア計画の展開方法について事例を通して理解する。	青山		
	13	高齢者と家族のサポートシステムと地域包括ケアシステムにおける質の高い効果的な連携を探究する。	青山		
	14	高齢者の健康課題とその解決方法に関するケースマネジメント及び継続看護マネジメントを活用し効果的な介入とその評価について探究する。	長江		
	15	日本における高齢者政策やケアシステムの将来に向けた展開についてNPとしての役割を探究する。	長江		
	教科書				
	参考書	開講時に紹介する			
	評価方法・基準	事前準備とプレゼンテーション(50%)、討論の内容(50%)で総合的に査定し、到達目標の達成度で評価する。			
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおくこと。事後には講義で学んだ技術を実習で応用してみる				